



鳥取市教育センターだより

第8号 平成26年12月22日発行

〒680-0053

鳥取市寺町150番地

TEL 0857-36-6060

FAX 0857-26-3878

E-mail kyo-center@city.tottori.lg.jp

一歳年をとる

12月に入り、寒い日が続いています。ここ最近の寒さをもたらしている寒波を天気図で見ると、以前は中国北東部にあったシベリア高気圧（乾燥していて冷たい空気のかたまり）が、今回は中国の南まで下がっています。その関係か日本列島にかかる等圧線も右下がりになり、海沿いに降雪がある状況になっています。これも地球温暖化の影響なのでしょうか。

さて、平成26年も残すところ一週間余りとなりました。年末が近づくと、神社やお寺だけでなく、各家庭や事業所で一年間のすす払いをし、新年を迎える準備をするところがたくさんあります。小雪が舞う中、一心不乱に掃除をする姿や正月用品などをかうために商店街で買い物をしている姿など、慌ただしくも活気ある様子がテレビなどで報道されます。今年一年を振り返りながら、新たな気持ちでスタートしようとする多くの人々のエネルギーを感じると、自分も頑張ろうという思いになります。また、新年を迎えてその年の抱負などを初詣して願う人も多いと思います。

私が子どもの頃、親から新年を迎えると一歳年をとると言われていました。誕生日がきていないのに、〇〇歳になったから・・・などと言われ、疑問を感じつつも少し大人になったのだ、しっかりしなくては・・・という気持ちを持ちました。本来、やる気は自分で高めるものだと思いますが、その誘発要因として周りからの励ましや期待感あふれる言葉は大きいと思います。一歳年をとることで、自分の中に頑張らなくてはという気持ちを抱かせてくれる新年。そのためにも、まずは今年一年をしっかりと締めくくり、成果と課題をはっきりさせて新年を迎えたいものです。



1月行事

1月16日（金）、23日（金）、27日（火） 第3回小・中学校講師研修会（各会場校）

1月21日（水）きなんせ！English World キャラバン（遷喬小学校）

1月28日（水）きなんせ！English World キャラバン（用瀬小学校）

※1月16日に予定していました「きなんせ！先生のためのEnglish World」は2月に延期します。

第3回生徒指導専任相談員研修会

12月12日（金）、第3回生徒指導専任相談員研修会を開催しました。今回は、鳥取県立鳥取聾学校の山根康代先生を講師にお招きし、講演をいただきました。また、専任相談員の実践報告とグループ協議を通して、活発な情報交換が行われました。

◆講演 「子どもの心に寄り添う教育相談

～教職員や保護者・他機関とうまくつながるためのこつ～

鳥取県立鳥取聾学校 特別支援教育コーディネーター 山根康代先生



【参加された相談員のみなさんの感想より】

山根先生のご講演から、

- 主訴（この子の課題や困り感）はどこにあるのか見極めることが大切
- 人を見るときには多面的な見方が必要ということが分かり、実践に生かしたいと思いました。

◆実践報告 鳥取市立東中学校

生徒指導専任相談員 鳥越房子先生

先生方と連携し、生徒に目標を持たせ、規律も意識させて相談室を利用させておられる鳥越先生の実践は、参考にできる点がたくさんありました。



◆グループ協議 「今年度の成果と課題」

情報交換をしてみると、学校ごとに相談員の立場・役割が違います。自分自身も日々葛藤し、悩みを抱えています。山根先生から、「相談室の役割を明確にすることで動きやすくなる。」というご指導をいただいたので、来年度の相談室経営に生かしたいです。





きなんせ! English World

12月13日 English World

新たに4年生を加え、4～6年生35名がクリスマスにちなんだ活動を楽しみました。



(児童の感想から)

- ・いろいろな体験ができて、英語が楽しくなってよかった。
- ・英語がだんだん理解できるようになって楽しかった。
- ・たくさんの外国人の先生と触れ合えて楽しかった。また来たい。



12月17日 キャラバン(賀露小)

各学年での活動、6年生の英語での学校紹介、遊びなど、触れ合いいっぱいの日でした。



どのグループも積極的に英語で自己紹介できました。

ALTの先生に、あやとりを教えてあげました。



学級経営研修会

12月12日(金)

今回は学習面を中心に、「授業で心がけていること、悩んでいること」を出し合いながら、学習時間における留意点や家庭学習の内容等についての研修を深めました。

参加者からは、「同じ悩みを持つ先生がいることで、気持ちにゆとりができた」「実践を聞く中で、普段の取り組みを振り返ることができ、多くの気づきがあった」といった感想が聞かれました。

計3回の研修会でしたが、全出席の先生もあり、研修の成果を自校での実践に生かしていけることと期待しています。

小中一貫教育研修会

12月15日(月)

第1回(6月30日)に引き続いて、各中学校区代表の研究主任の先生方の参加のもと、学力向上の取り組みについて意見交換をしました。どの校区も、第1回での提案がしっかりと形になっていました。

今後も、全国学力・学習状況調査等の分析から児童生徒のつまずきを的確に把握し、小・中学校が共に、的を絞った授業改善の取り組みをすすめていただきたいと思います。

(別添資料もあわせてご覧ください。)

小・中教科会や授業研究会、学習の手引きや自学ノートの実践など、活発な話し合いが行われました。

